

教科

発行者
略 称

教科書名

選定委員から付された意見

東 書

新編
あたらしいどうとく 1
新編
新しいどうとく 2
3
4
新編 新しい道徳 5
6

- ・ 全学年に「安心・安全」「情報モラル」「いのち」「いじめ」「じぶん」についての5項目が重点項目として取り上げられている。とりわけ、いじめに関する内容は学校全体で取り組める内容となっている。
- ・ いじめに関しては、6年生「いじめ防止対策推進法」、5年生「子どもの権利条約」、4年生ではいじめを見ている人たちが取り上げられており、内容が充実している。
- ・ 1年生のはじめの段階では、絵や写真を中心に学ぶ構成になっており、学校生活が始まった段階の児童にとっては、文字ばかりを追う内容よりわかりやすい。
- ・ 藤子不二雄、池田理代子、宮沢賢治、中村哲など、多くの人物が取り上げられており、人物の生き様に学ぶという特徴がある。
- ・ 取り上げられている人物についても、近年活躍されている方が多く、児童にとっては身近な人として捉えやすい。
- ・ 自分の心について考えられるような「心のメーター」や、スケーリング、マッピングなどの資料が良い。
- ・ 道徳的な行為について考えさせるような内容が増えており、より体験的に学ぶ作りになっているところはおもしろい。
- ・ 心情を考えやすい挿絵を使用している。
- ・ 構成のバランスが良く、考えてみようという問いかけの形が良い。
- ・ 自分事として捉えていく場面が設定されており、クラスの中で安心感や居場所、自分のつながりなどを感じられる内容が充実している。

※選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。

教 出

しょうがくどうとく 1
はばたこうあすへ

小学どうとく 2・3
はばたこう明日へ

小学道徳 4・5・6
はばたこう明日へ

- ・「いじめ」「情報モラル」が重点項目に挙げられており、加えて、低学年では「生命尊重」、中学年では「国際理解」、高学年では「自然愛護」「相互理解」に重点が置かれていることが特徴である。
- ・各学年の最初には、自分の生活を見つめる教材が導入として配置されている。
- ・いじめに関しては、6年生で「世界人権宣言」、5年生では「SNS いじめ」を取り上げ、相談窓口も示されている。また、4年生ではいじめの四層構造が取り上げられており、内容が充実している。
- ・近年の児童の状況を鑑みると、SNS いじめについて取り上げられているところが良い。
- ・5年生でジェンダー平等について取り上げられている。
- ・アイヌの人々について取り上げられているのが特徴的である。普段生活の中で関心を持ちにくい内容だからこそ教科書で取り上げ、人権課題として捉えることの大切さを感じる。

光 村	どうとく 1・2・3 きみが いちばん ひかるとき 道徳 4・5・6 きみが いちばん ひかるとき	・「いじめ」「情報モラル」の2項目が全学年共通の重点項目となっており、教材とコラムで考える構成となっている。 ・いじめに関して、6年生「世界人権宣言」、5年生「子どもの権利条約」、4年生ではまわりにいる人が取り上げられており内容が充実している。 ・教材の導入に投げかけの言葉が書かれていることについては賛否両論あると思うが、児童の日常生活と教材をつなぐという意図を感じる。 ・教材の振り返りとして1～4年生はシールを貼る、5・6年生は一言感想を書くよう作られている。児童一人一人がどのように考えたのが重要だと考えるので、学年に応じて低学年であっても一言でも思いを書くことが大切なのではないか。 ・学校でのエピソードや校外学習での出来事など実際にイメージしやすい身近な話が多く、児童が考えやすい。 ・「いじめ」「情報モラル」についてのコラムの内容が工夫されている。
日 文	しょうがく どうとく いきるちから 1・1 どうとくノート 小学 どうとく 生きる力 2・2 どうとくノート 3・3 どうとくノート 小学道徳 生きる力 4・4 道徳ノート 5・5 道徳ノート 6・6 道徳ノート	・別冊でノートがあり、感想が書けるという点で効果的である。 ・「安全なくらし」「情報モラル」「人とのかかわり」を重視した構成になっている。 ・年3回のいじめ防止ユニットで、直接いじめを扱っている教材と間接的にいじめを扱いながらいじめを許さない心を育てる内容とをうまく組み合わせている。 ・4年生教材の「いじりといじめ」は、特徴的で興味深い。 ・学期末に振り返りを文章で記述し、保護者がコメントをするような欄があり、ある一定の長いスパンで児童の変容を捉えるという意味では活用しやすい。 ・内容4項目をかなり丁寧に提示している。 ・いじめとつながる内容では、42の教材を挙げている。 ・定番教材を多く使用しているという特徴がある。 ※選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。
光 文	しょうがく どうとく ゆたかな こころ 1ねん 小学 どうとく ゆたかな こころ 2年 小学 どうとく ゆたかな心 3年 小学道徳 ゆたかな心 4年・5年・6年	・重点項目として「命」「いじめ」が挙げられていることに加え、低学年で「レジリエンス」、中学年で「協力」、高学年で「共生」を取り上げているのが特徴である。 ・LGBTに関する内容が充実している。 ・40教材があるが、兵庫県道徳副読本の活用とのバランスを考えなければならない。 ・発問例のインパクトが強い。 ・内容4項目について、学習の流れを意識した構成になっている。 ・先人や著名人から学ぶ内容も充実している。
学 研	新版 みんなのどうとく 1・2・3 新版 みんなの道徳 4・5・6	・「いのち」を最重点テーマにしており、色々な内容項目を命と組み合わせて「いのちのユニット」が構成されている。 ・いじめ問題についても年間通して構成、計画されている。 ・環境、防災、SDGs等、より良く生きることを重点テーマにあげており、キャリア教育に関する内容も充実している。 ・定番教材である「二つのことり」が2段に分かれて表記されていることで文のつながりが分かりにくく、挿絵の中に吹き出しがあるなど情報量が多いため、1年生にはやや見にくい。